

現在、この地はサギソウをはじめとする貴重な湿原植物群落として徳島県指定の天然記念物に指定され保護措置がとられている。しかし、本種が生育している所はヨシの繁殖によって環境が悪く、生育個体数は少なくなっている。消滅の恐れも考えられる。

4. ヤマトミクリ *S. fallax* Graebn.

前種同様池田町の黒沢湿原の2カ所のため池に生育している。以前は板野郡土成町の浦の池にも生育していたが、現在は護岸工事等での環境悪化により消滅した。今までに報告されている産地についても、現在は確認できない。ヒメミクリ同様本県では希少種である。

池田町黒沢：木下1994, NO. 6049, 6050, 6051, 6052, 6053, 6054, 木下1995, NO. 6055, 6056.

これらの4種・1変種の徳島県における分布をまとめると図3のようである。

なお、使用した標本は証拠標本として一部を除いて総て徳島県立博物館に納めた。

今回の小文をまとめるにあたり、種の同定について、神戸大学理学部 角野康郎博士、大阪市立自然史博物館 学芸員 藤井伸二氏に貴重なご助言をいただいた。ここに厚くお礼を申しあげる次第である。

参考文献

- 角野康郎, 1994. 日本水草図鑑. 文一総合出版.
阿部近一, 1990. 徳島県植物誌. 教育出版センター.
牧野富太郎, 1989. 改訂増補 牧野新日本植物図鑑. 北隆館.

○文献リスト〔1997—(2)〕

上野雄規, 1997. 絶滅危惧種フサタヌキモの岩手県における現状. 岩手植物の会会報 (34): 18-22.

太田道人・坂井奈緒子, 1997. 富山からいなくなった水草. とやまと自然 (富山市科学文化センター) 20 (2): 9-10.

唐沢孝一, 1997. 江戸東京の自然誌32. 大賀ハスの魅力. 遺伝 51 (11): 54-55.

狩山俊悟・榎本敬・小島裕子・片山久・地職恵・稲若邦典, 1997. 岡山県産バイカモ類の形態変異. 倉敷市立自然史博物館研究報告 (12): 93-99.

神戸敏成, 1997. 絶滅危惧植物ミズアオイ (*Monochoria korsakowii* Regel & Maack.) の発芽特性に関する研究. 富山県立中央植物園研究報告 2: 17-22.

北詰昌義・野口俊太郎, 1997. 人工ヨシによる生活排水の高度処理. 用水と廃水 39 (11): 1043-1047.

北野一夫, 1997. 那賀郡から日高郡の溜池における水生植物調査. くろしお (南紀生物同好会) (16): 13-18.

久米 修, 1997. 小型容器を使用したオニバスの栽培. 香川生物 (24): 1-4.

小林勝一郎, 1997. 多年生水田雑草の塊茎形成に対するオーキシン型除草剤の阻害作用機構. 雑草研究 42: 57-64.

中島拓男, 1997. 琵琶湖の生態と景観. 環境技術 26

(8): 490-494.

藤井伸二・木下 覚, 1997. イセウキヤガラ (カヤツリグサ科) の越冬を確認. 植物分類地理 48: 79-80.

細見正明・吉ヶ江隆廣・榎内孝信・須藤隆一, 1997. 淀浜ヘドロを用いたウェットランドシステムの開発に関する基礎的実験—人工ヨシ湿地の創出—用水と廃水 39 (7): 580-586.

嶺田拓也・沖 陽子, 1997. 雑草防除法, 耕起法および作付け様式の異なる水田における埋土種子の比較. 雑草研究 42: 81-87.

汪 光熙・草薙得一・伊藤一幸, 1797. ミズアオイとコナギの生育ならびに種子生産に対する播種時期, 遮光および施肥量の影響. 雑草研究 42: 135-143.

Takagi, S. 1997. Photoregulation of cytoplasmic streaming: Cell biological dissection of signal transduction pathway. J. Plant Res. 110: 299-303. (*Vallisneria gigantea* を材料にした総説)

Tanaka, N., H. Setoguchi and J. Murata, 1997. Phylogeny of the family Hydrocharitaceae inferred from *rbcL* and *matK* gene sequence data. J. Plant Res. 110: 329-337.